

『年鑑日本の空間デザイン』の刊行活動に対して

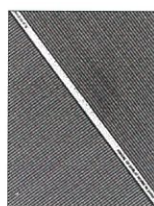
株式会社六耀社



1974年版



1975



1976



1977



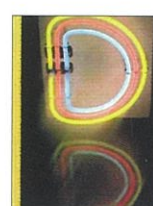
1978



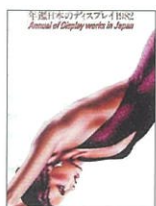
1979



1980



1981



1982



1983



1984



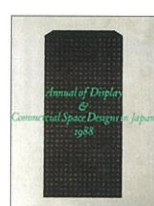
1985



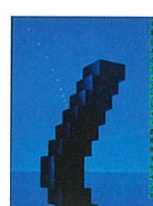
1986



1987



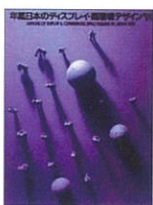
1988



1989



1990



1991



1992



1993



1994



1995



1996



1997



1998



1999



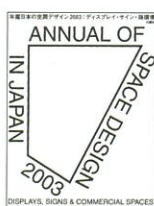
2000



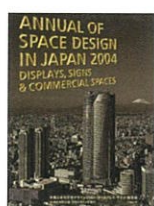
2001



2002



2003



2004



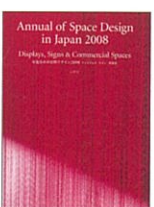
2005



2006



2007



2008



2009



2010

『年鑑日本の空間デザイン』1巻から37巻

『年鑑日本の空間デザイン』は本書で37冊目となった。当初は日本ディスプレイデザイン協会、日本ディスプレイ業団体連合会の作品を収録することから始まったが、その後日本商環境設計家協会、日本サインデザイン協会が加わって、現在のスタイルへと形を変えてきた。空間デザインは、そのほとんどが短期間で消費されてしまうことから、その偉業は写真でしか残らない。だからこそ作品を写真で残すことの大切さを痛感している。当社はデザインを専門とする出版社で、37年間の空間デ

ザインを収録し続けてきたが、今回評価していただいたことは、四団体の協力があったからこそ続けてこられたことと深く感謝申し上げたい。編集に当たっては、1冊目(1973年)から装丁デザインの担当を毎年変え、その年々の新しさをつくってきたつもりだ。37冊目を迎え、一連の作業を思い返してみると、この本の装丁からデザインの歴史が感じられるようだ。今後も四団体とともに協力して、空間デザイン界の基盤となる書籍であり続けられるよう、全力で取り組んでいきたい。